

温暖化防止うらやす
活動概要

&

地球温暖化意識
アンケート調査結果

2019年1月16日

島野圭司(温暖化防止うらやす)

温暖化防止うらやす(概要)

設立:2007年8月14日

設立目的:市民、各種団体、企業、行政と連携し、
浦安地域における地球温暖化防止活動の、促進と普及を図る

メンバー:15名

(千葉県温暖化防止推進員、浦安市環境学習アドバイザー、
地球温暖化防止コミュニケーター等)

団体ホームページ:<http://ohnishi.ecnet.jp/dummy/OnBouUrayasu/>

主な活動:

- 1) イベント参加
 - ・浦安市環境フェア
 - ・市民活動フェスティバル
- 2) 講演会協力
 - ・うらやす市民大学環境特別講座
- 3) 調査活動
 - ・ITを利用した市民環境意識アンケート調査
 - ・市民エネルギー使用状況調査(2017年秋)
 - ・地球温暖化に関する意識調査(2018年秋)
 - ・市内桜開花時期調査
- 4) 環境問題分科会
 - ・環境学習教材作り
 - ・環境家計簿普及活動



地球温暖化に関する意識アンケート調査概要

実施時期 2018年8月10日～11月30日

目的 地球温暖化に関する市民の知識の広がり状況や考え方を把握

背景 数十年に一度の危機的な災害だとされる大雨・洪水や、相続く大型台風の襲来、猛暑日や熱帯夜数の急速な増大など、最近の異常気象が地球温暖化(気候変動)の影響と考えられる。

市民がこうした異常気象の一因が、自分たちが資源やエネルギーを過剰に消費することと関係しているという認識をどの程度持っているか、地球温暖化リテラシーはどの程度なのかを主な調査項目に設定した。

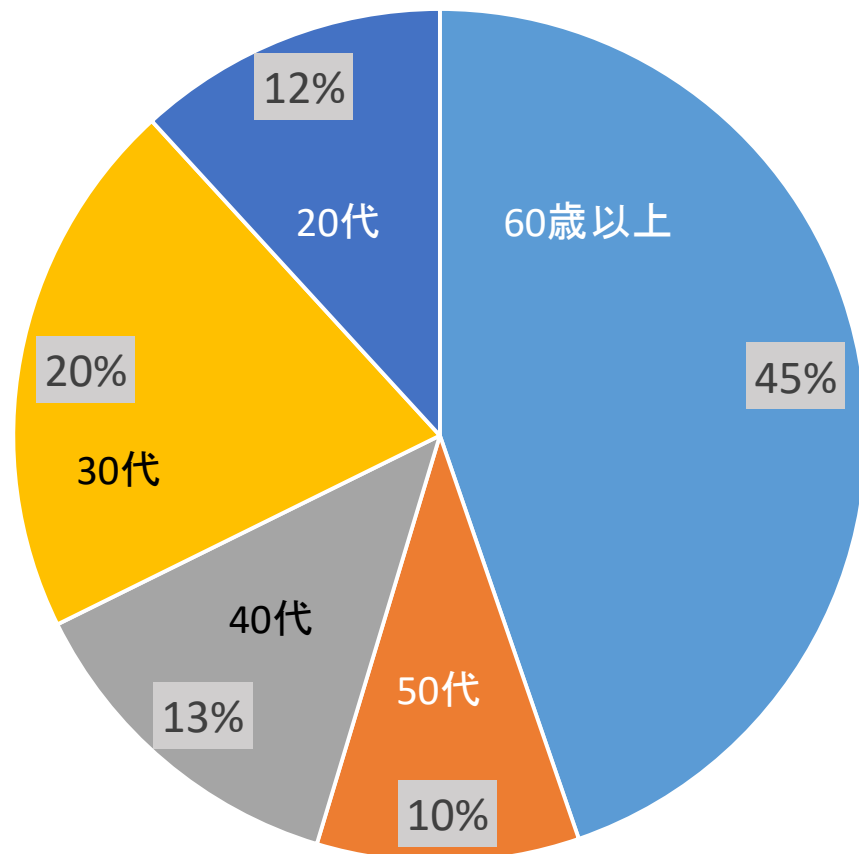
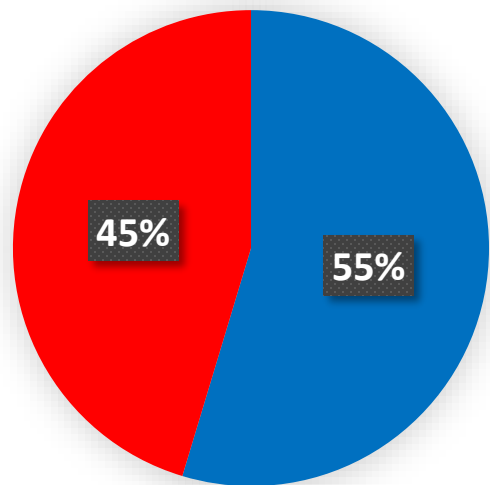
調査結果は地球温暖化啓発活動において市民団体がどのような活動をすべきなのか、また、行政がどのような施策を実施すべきかなどの提言に結びつけたいと考えている。

手段 WEBによる質問に答えてもらう。(Google Formを使用)
回答者へ抽選で30名にクオカード(1,000円)贈呈

市広報、ミニコミ誌(浦安新聞、AELDE) 広報記事掲載、
公民館チラシ配布、
市民活動センターのお知らせメール
市民活動団体代表者等への直接メール依頼

地球温暖化に関する意識アンケート調査結果

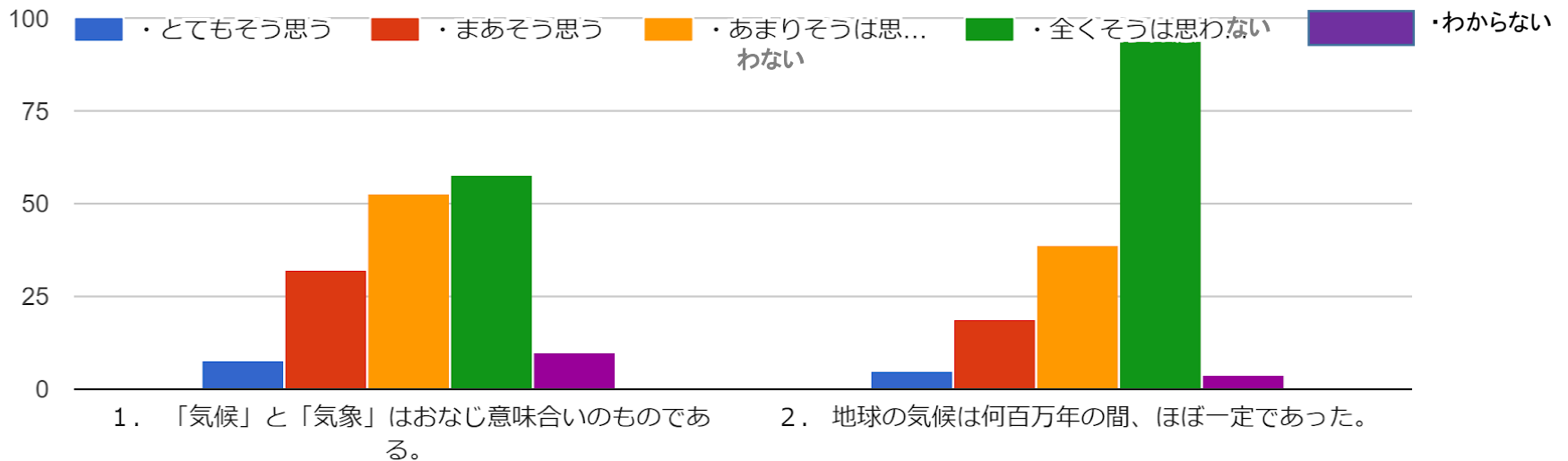
回答者 プロフィール

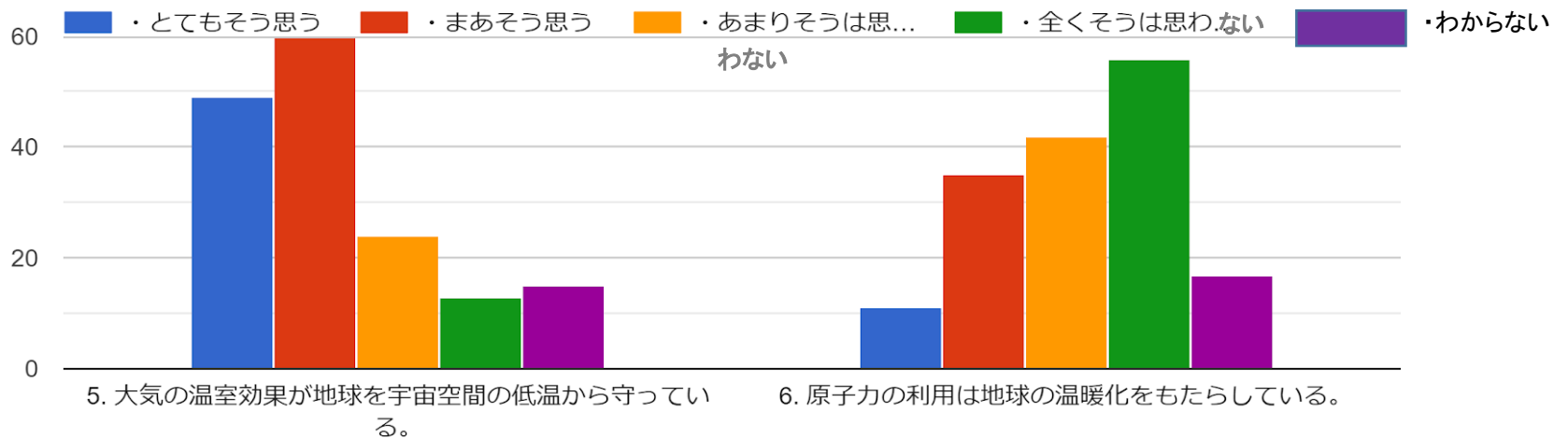
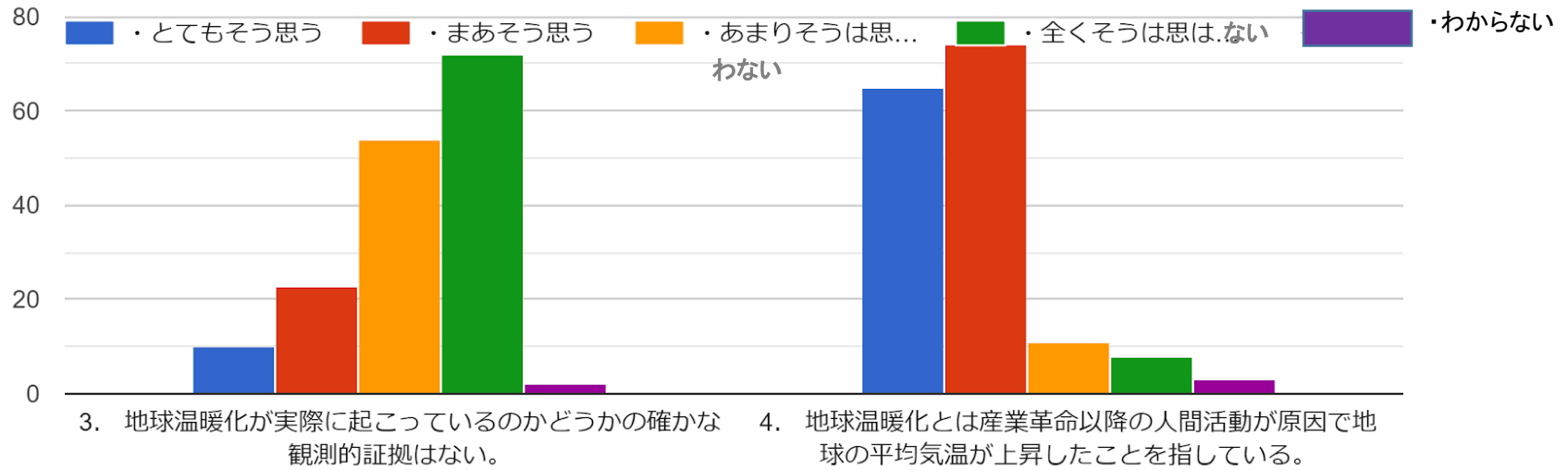


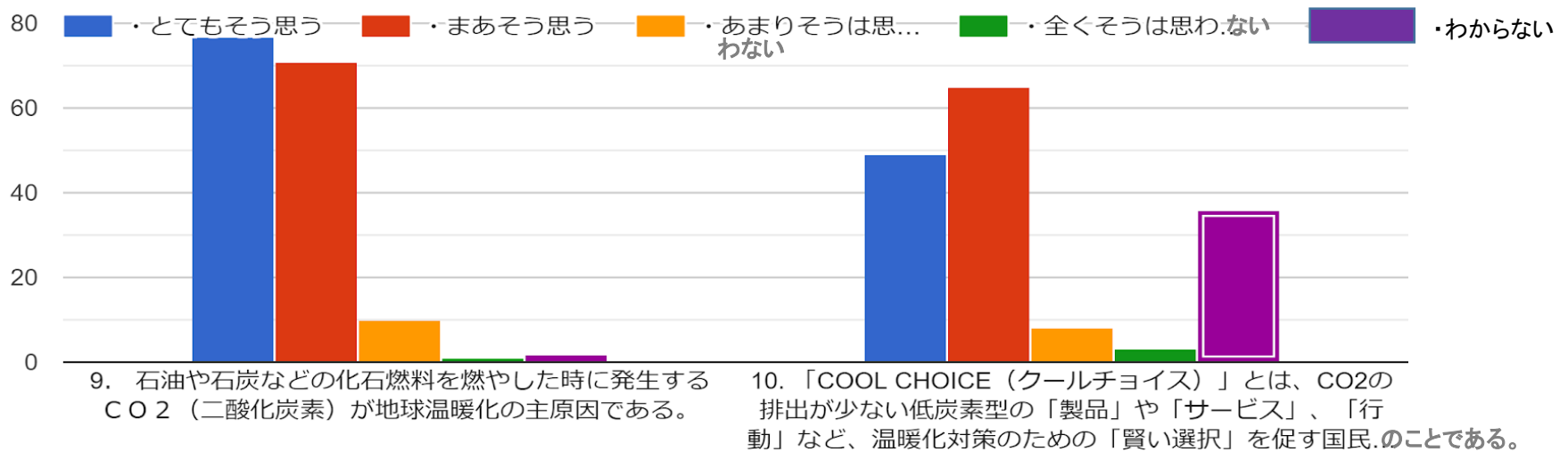
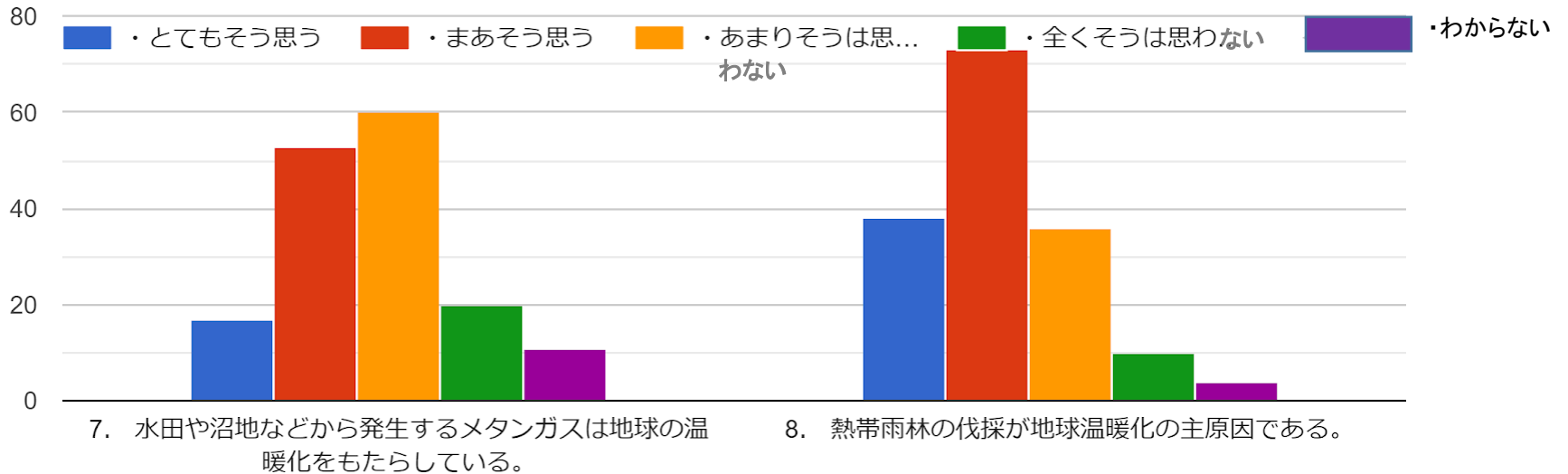
回答者数 161名
調査期間 2018年8月～11月末

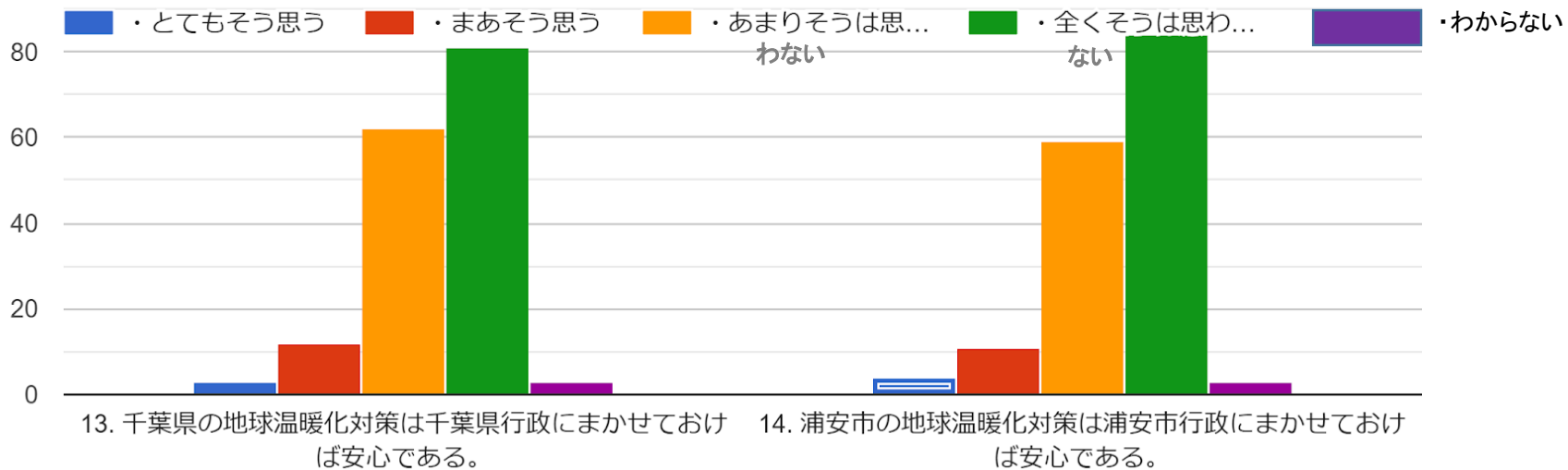
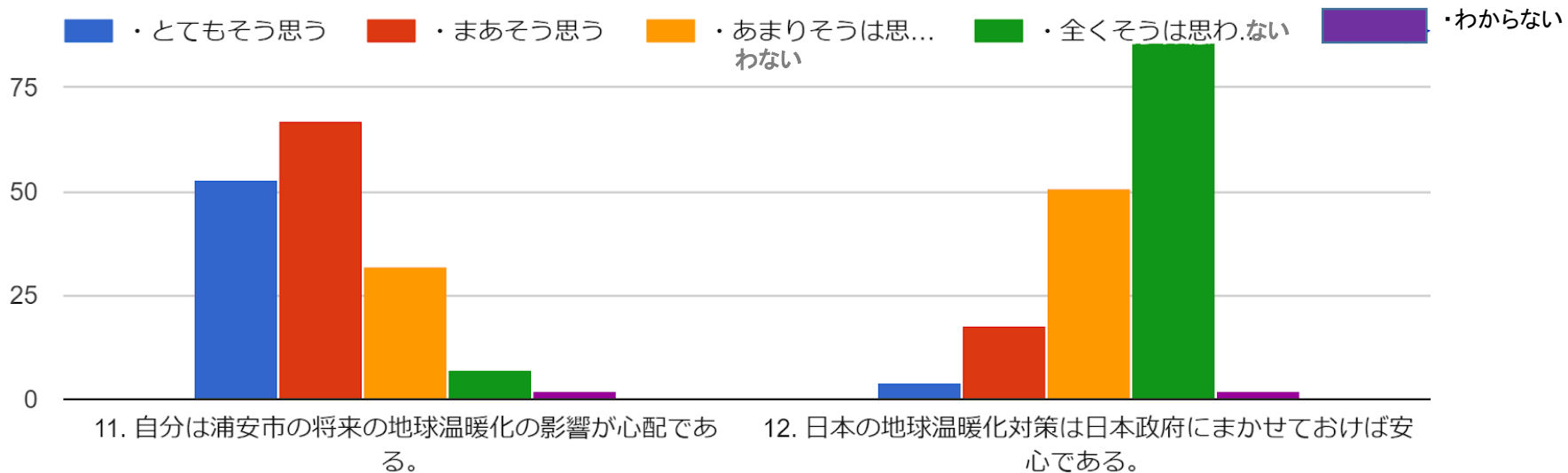
- Q1.以下の設問について
- ・とてもそう思う
 - ・まあそう思う
 - ・あまりそうは思わない
 - ・全くそうは思わない
 - ・わからない

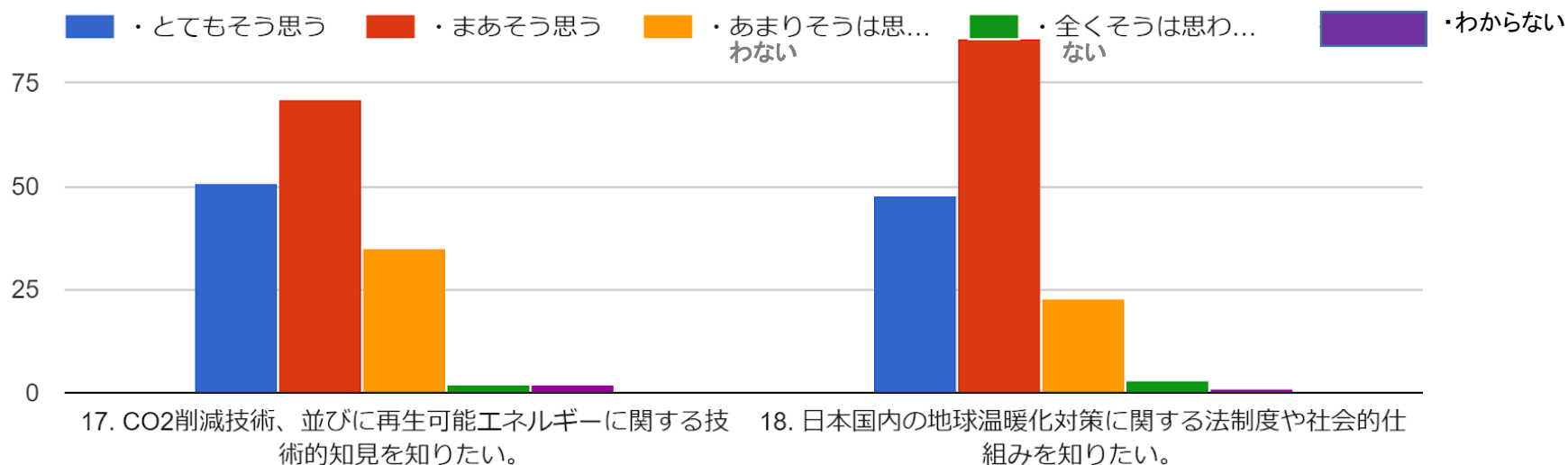
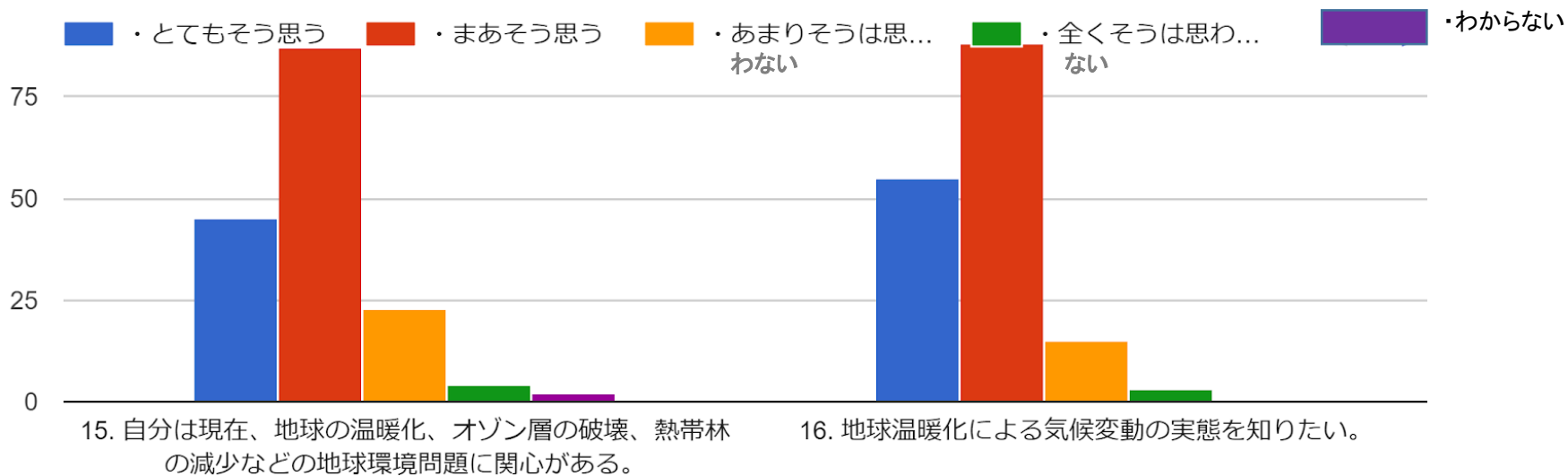
のいずれかを選択してください。

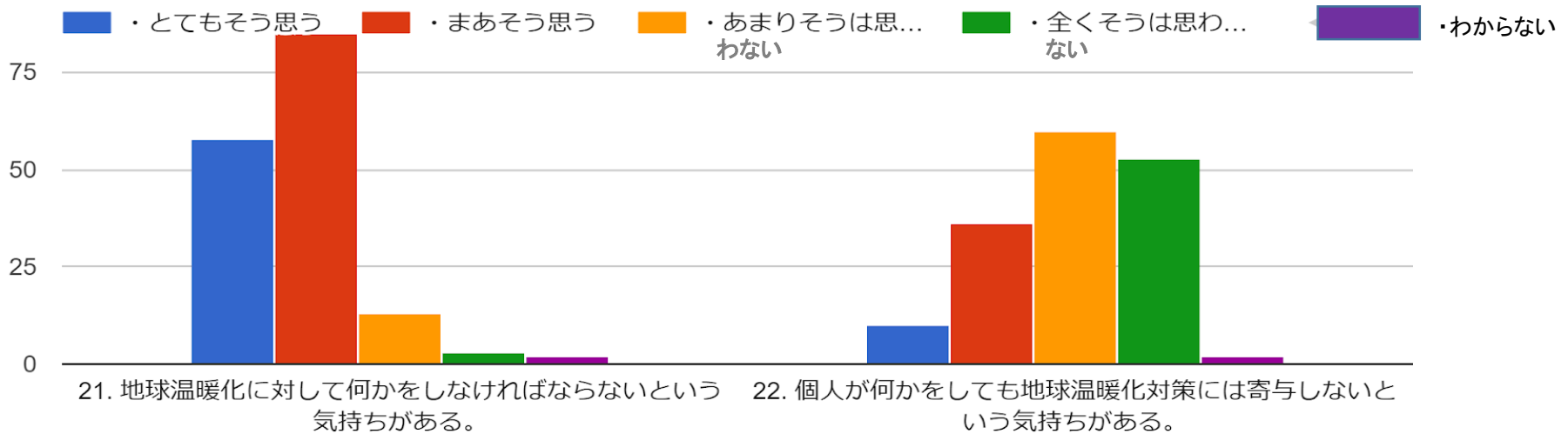
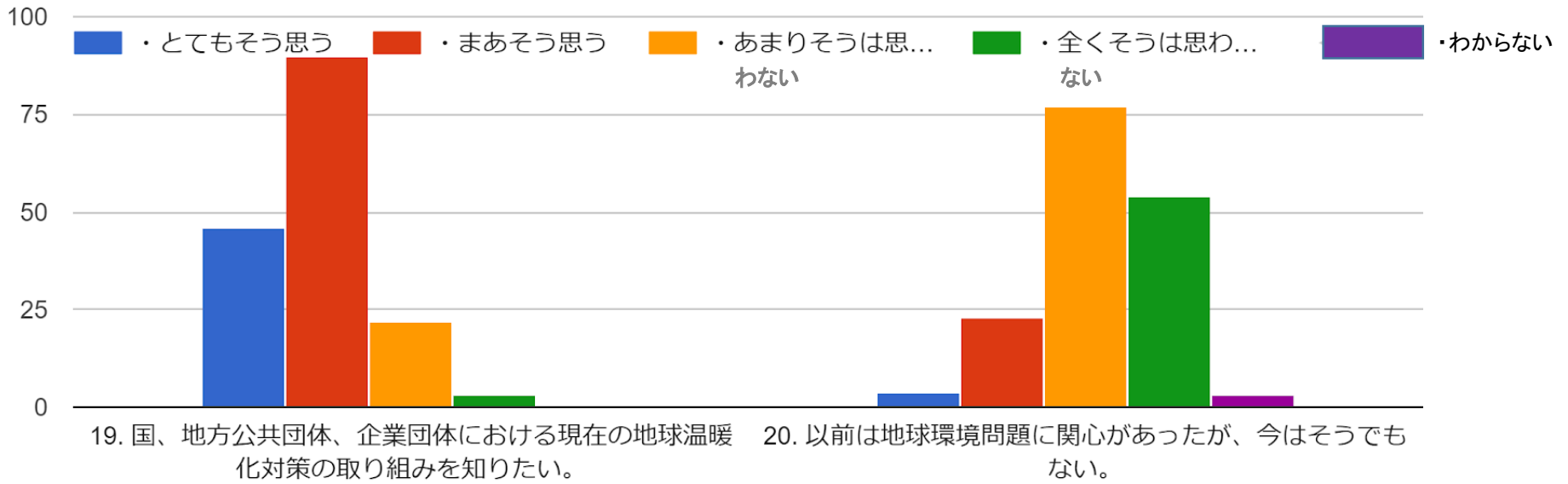


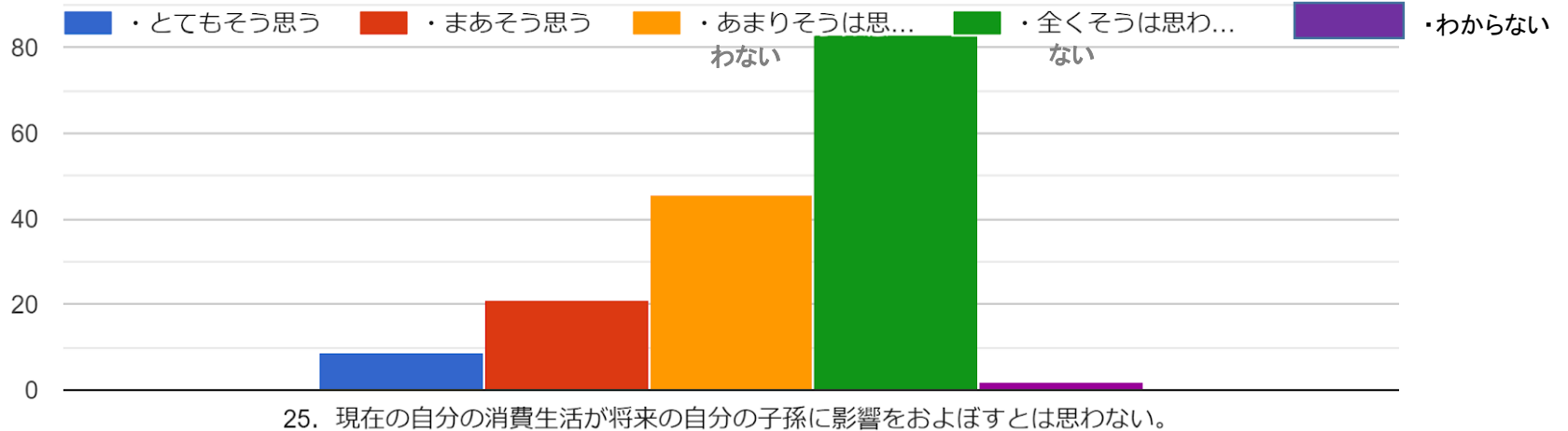
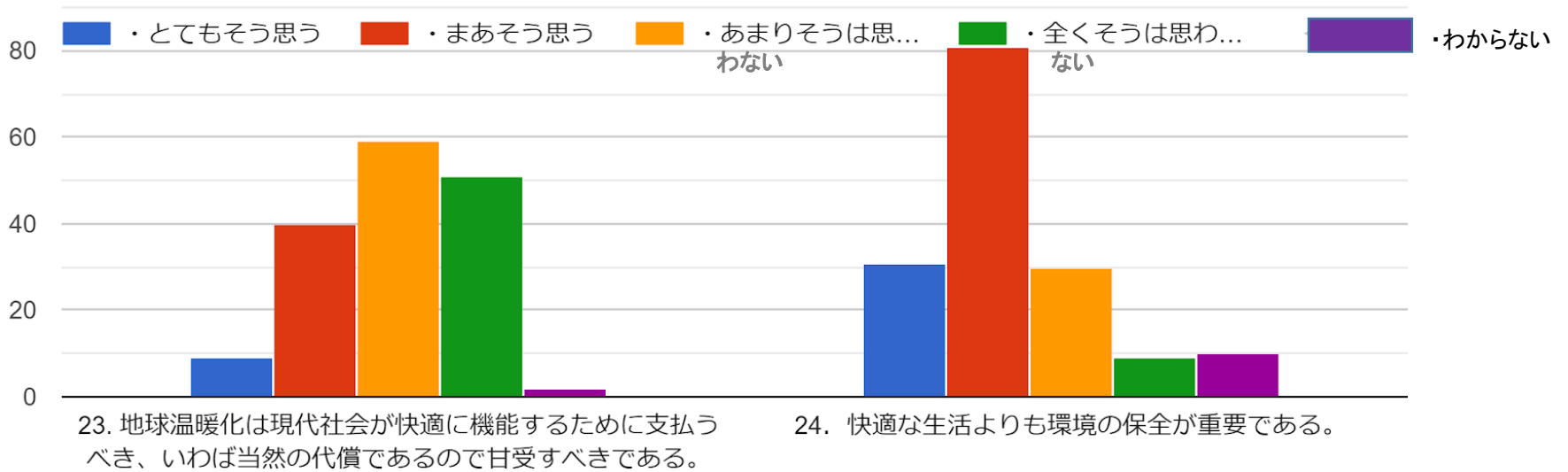






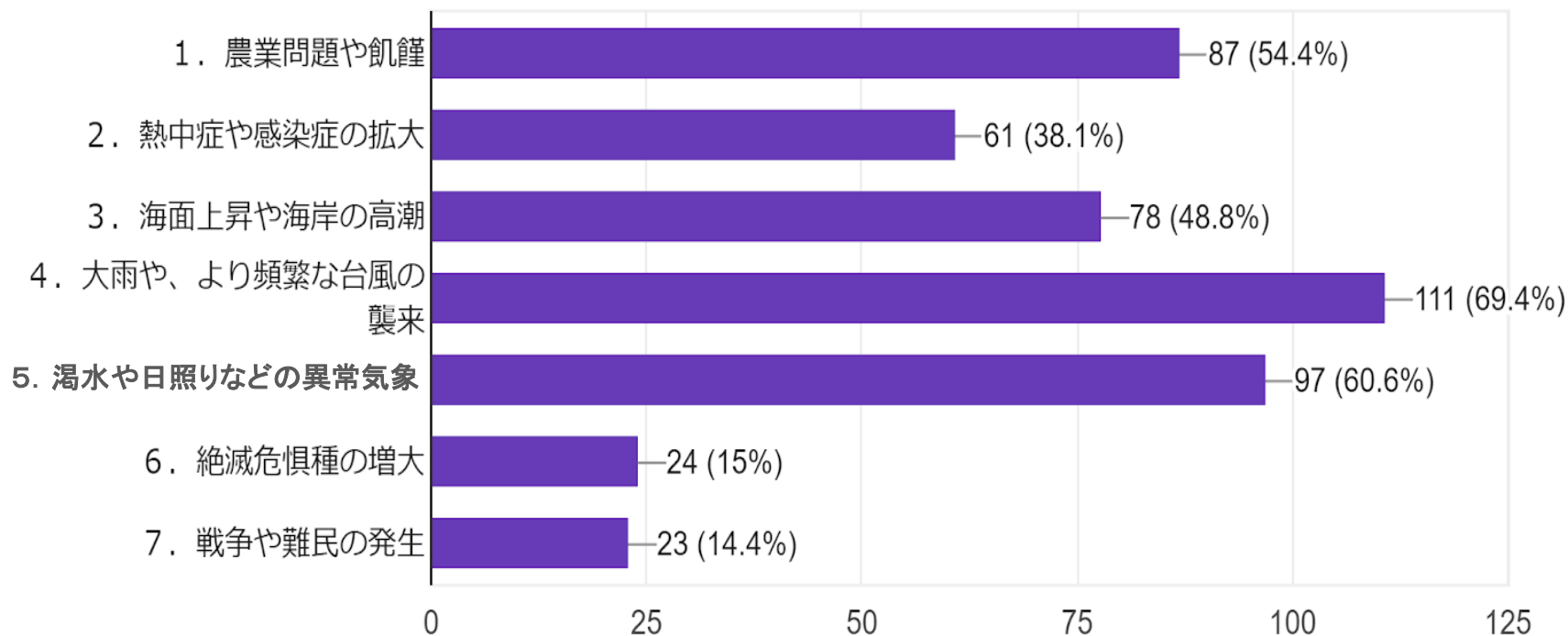






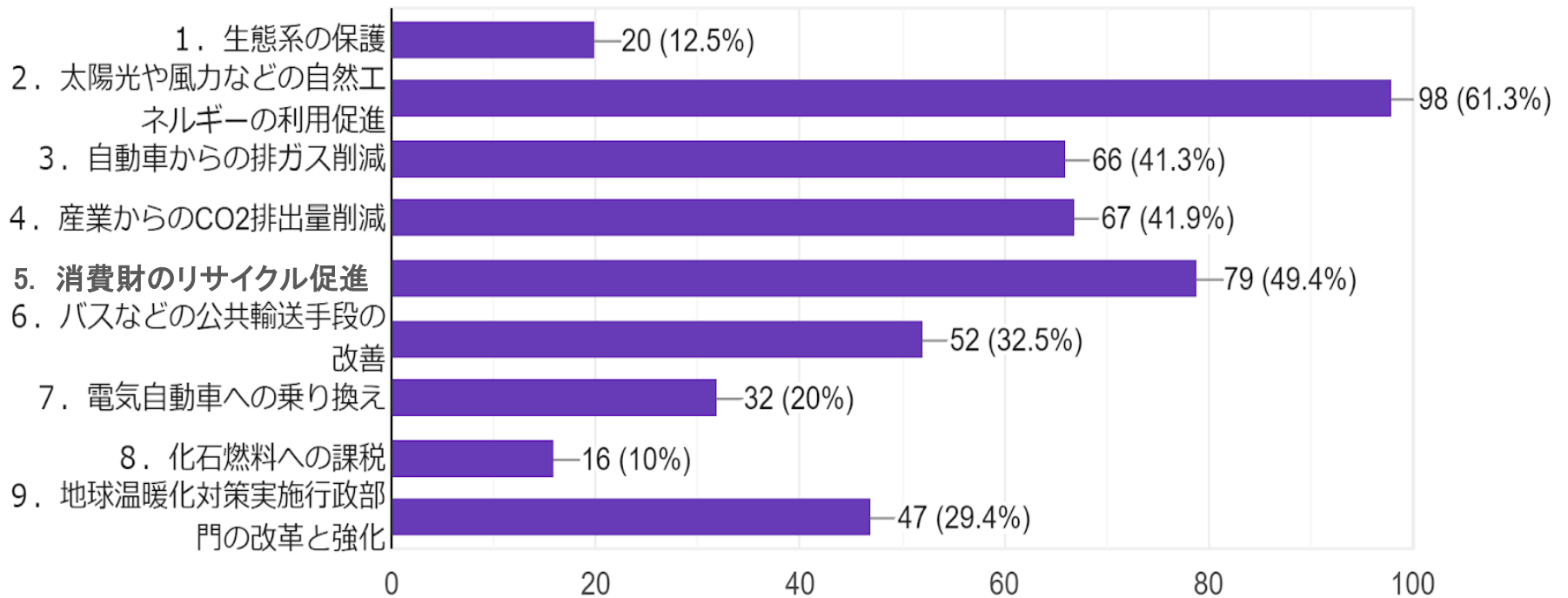
Q2. 地球温暖化がもたらす災害の中であなたが心配する事柄を3つ選んでください。

160件の回答



Q3. 浦安市の地球温暖化対策として有効だとおもわれる事柄を3つ選んでください。

160件の回答



アンケート結果サマリー

- ・気候、気象の基本的事象の正答率が70～80%
- ・地球温暖化の概要に関しては80～85%の人が正しく理解している。
- ・大気の温室効果、メタンガス、原子力発電との関係などについては50～70%の正答率
- ・一方、化石燃料を燃やすことがCO2発生の主要原因と理解している人が90%
- ・環境省のクールチョイスのキャンペーンは70%の人が認知している
- ・地域の将来に地球温暖化が及ぼす影響について心配している人が75%
- ・行政に任せておけば安心という人は10%未満
- ・地球温暖化に関してもっと知識を得たいという人は90%
- ・CO2削減技術、再生可能エネルギーについて知りたい人75%
- ・地球温暖化対策の法制度、仕組み、行政の取組みなどを知りたい人が85%
- ・地球温暖化に以前より関心が無くなったと考えている人20%
- ・自身で地球温暖化に関して何かをしなければと考えている人は90%
- ・一方で個人が何かをしても地球温暖化に寄与しないと思っている人は30%
- ・地球温暖化に関して自分達の消費生活が次世代へ影響を及ぼすと考えている人は80%
- ・地球温暖化がもたらす災害では台風、大雨、高潮、渇水、高温など異常気象、それによる農業への影響などを不安視
- ・自然エネルギーの活用、リサイクルの促進が有効な対策ととらえている人が多い。

アンケート結果から読み取れること

- ・地球温暖化に関して知識レベルはかなり高い。

- 環境問題に関心のある層が回答者に多い

- ・行政任せにしている良いと考えている人が極端に少ない。

- 世界的な問題で、日本の国、地方自治体の施策だけで解決すると思っていない。

- 個人のライフスタイルに関係している問題で行政施策では解決できないと考えている。

- 行政サイドの施策が見えていない。(法制度、施策など知りたいと考えている人が多い)

- 行政レベルで有効な手が打たれていると考えていない。

- ・地球温暖化の影響で災害が増えることを懸念している。

- 去年の豪雨、台風による猛烈な風など体験したことの影響が大きい。

- ・地球温暖化の対策として自然エネルギーの活用とリサイクルが有効

- 化石燃料をできるだけ使わないために、自然エネルギーをという人が多い。

- 自分たちの問題として消費生活の見直しが必要と考えている人が多い。

- クールチョイスなどのキャンペーンもある程度は浸透しているか。

課題

回答者数、回答者世代

- ・2017年のエネルギー調査(91名回答)よりも回答者(161名)と増加したが、まだ、目標とする200名には及ばなかった。
- ・現役世代(60歳以下)は前回35%であったが、今回は55%となり世代割合は改善した。